

# 【請求管理ロボ for Salesforce】 初期セットアップガイド (対応Ver : 1.41)

2025年10月15日 発行



#	改訂日	改訂内容	改訂者
1	2024/03/07	カスタム設定(P.32～35)説明事項追記	大坂
2	2024/06/25	カスタム設定(P.32～35)説明事項追記	大坂
3	2025/02/20	カスタム設定(P.32～36)説明事項追記	大坂
4	2025/02/20	Apexジョブ(P.39)資料掲載ヘルプページへのリンク追加	大坂
5	2025/02/20	『選択リスト項目の区分値追加』削除	大坂
6	2025/02/20	コンパクトレイアウトの設定(P.41,50)説明事項追記	大坂
7	2025/02/20	廃止オブジェクト『見積書』(P.46～47,49)表記削除	大坂
9	2025/06/20	Ver1.39向けの設定項目を追加・編集	大隈
10	2025/07/18	Ver1.40向けの設定項目を追加・編集	大隈
11	2025/10/14	Ver1.41向けの設定項目を追加・編集	大隈

## **1. 本書の位置づけ**

## **2. 初期セットアップの流れ**

1. [初期セットアップ - 概要](#)
2. [インストールの前に](#)
3. [タスク①：Todoオブジェクトのレコードタイプ設定](#)

## **3. インストールと接続**

1. [インストールと接続 - 概要](#)
2. [タスク②：インストールの実施](#)
3. [タスク③：SSO設定の実施](#)
4. [タスク④：API接続設定の実施](#)

## **4. 請求管理ロボ for Salesforceの設定**

1. [請求管理ロボ for Salesforceの設定 - 概要](#)
2. [タスク⑤：カスタム設定の実施](#)
3. [タスク⑥：APEXジョブの登録](#)
4. [タスク⑦：データ登録補助機能の設定](#)

## **5. Salesforce画面の最適化**

1. [Salesforce画面の最適化 - 概要](#)
2. [タスク⑧：ページレイアウトの設定](#)
3. [タスク⑨：レコードページの設定](#)
4. [タスク⑩：コンパクトレイアウトの設定](#)
5. [タスク⑪：リストビューボタンの表示設定](#)

## **6. ユーザー登録**

1. [ユーザー登録 - 概要](#)
2. [タスク⑫：SFユーザーへのライセンス割り当て](#)
3. [タスク⑬：ロボユーザーの登録](#)

## **7. appendix**

1. [プロフィール権限設計の考え方](#)
2. [請求管理ロボ側の初期設定作業](#)

# 1. 本書の位置づけ

本資料の位置づけをご説明いたします。

本書は【請求管理ロボ for Salesforceのインストールと利用可能な状態にするための設定作業】を説明した資料です。

## 【想定読者】

### 1. 請求管理ロボ for Salesforceの導入作業を・・・

- 自社対応する社内アドミニストレーターの方
- クライアントからの委託で、作業代行するベンダーの方

### 2. Salesforce.comの設定作業の実施スキルを有している方

- 認定アドミニストレーター又は、アプリケーションビルダー相当のスキルを有している方

請求管理ロボ for Salesforceの利用開始までに以下のタスクがございます。本書では【初期セットアップ】を取り扱います。

#	作業概要	作業詳細	備考
1	初期セットアップ	Salesforceに請求管理ロボ for Salesforceをインストールします。 また、製品が動作するための必要設定を行います。	“SFからの登録に基づいて、請求書発行できる状態にする” ところまでを扱います。
2	業務運用検討	請求管理ロボ for Salesforceを用いた請求業務・債権管理業務を検討します。	
3	パッケージ設定	請求管理ロボ for Salesforceの業務設定を行います。 例：ロゴの設定、差出人住所の設定、請求書送付メールの文面設定等	業務利用開始に伴う、顧客の請求書送付先登録なども含まれます。 ※導入支援の中で弊社担当からご案内いたします。
4	Salesforce機能開発	Salesforce上の機能開発を行います。	例：契約データを元に、請求管理ロボ for Salesforceの請求データを自動作成する処理の開発、等。

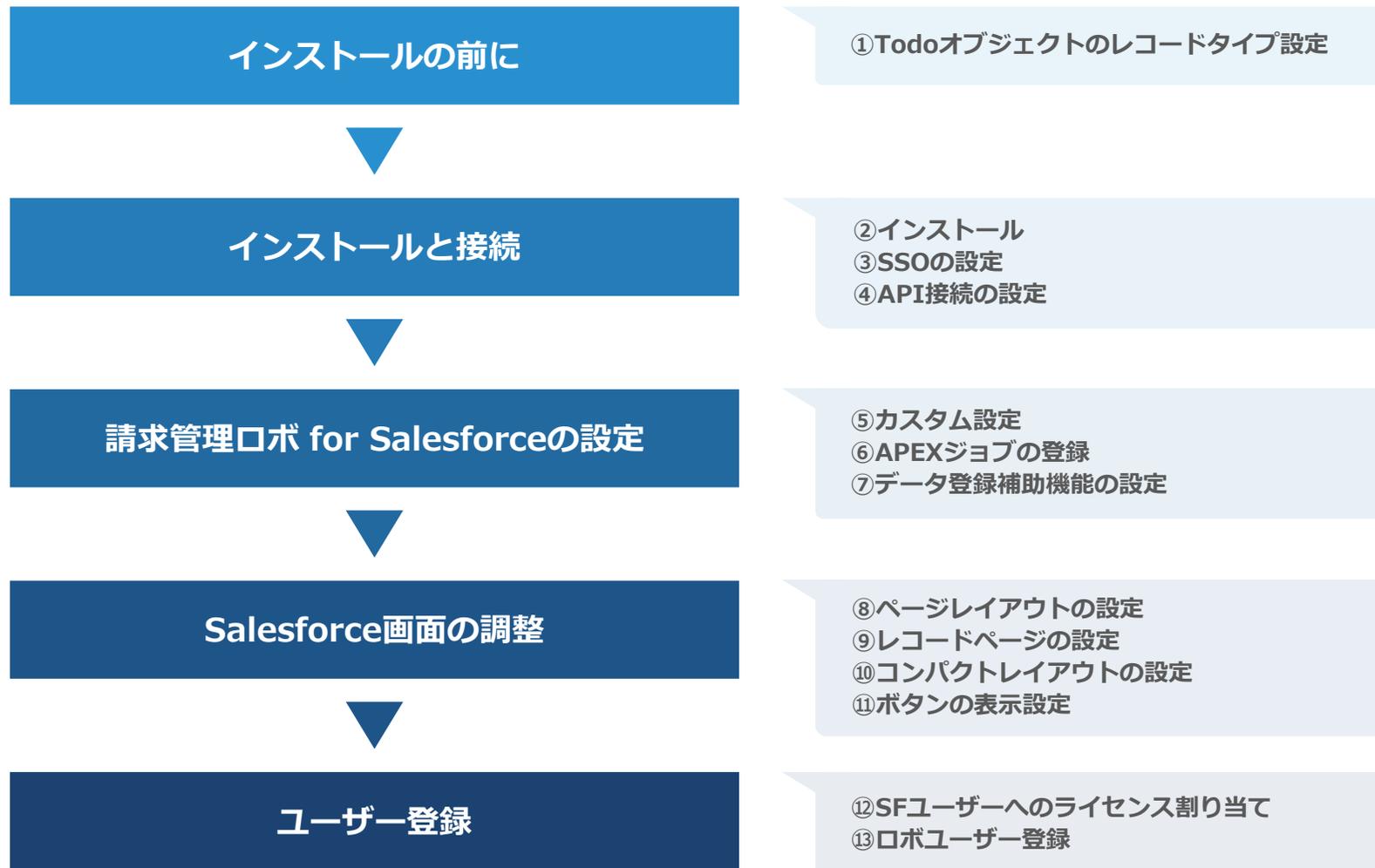
本書の範囲

## 2. 初期セットアップの流れ

初期セットアップ作業の概要をご説明します。

## 2-1.初期セットアップ - 概要

初期セットアップ作業は、大きく以下のステップに分かれます。



インストールの作業の前に以下の注意点を確認し、対応方針を検討してください。

※Sandboxでの事前検証を推奨します。請求管理ロボもデモアカウントを払い出します。担当営業までご相談ください。

#	概要	詳細	備考
1	インストール時の権限適用範囲	インストール時、権限付与プロファイル範囲の指定が必要です。プロファイルごとに権限を分けるか否か、をご確認ください。	<p>弊社としては以下の点から、【全プロファイルへのインストール】を推奨いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弊社製品の業務範囲上、役割分担する必要が乏しい。</li> <li>全プロファイルに権限を付けても、ライセンスを付与しないと機能利用できない。このため、意図せず機能利用されるリスクは低い。</li> </ul>
2	インストール直後のライセンス適用範囲	インストール時、「Salesforce全体がライセンスされる状態」となります。この為、一時的に「プロファイル権限があればだれでも機能利用できる」状態になります。 インストール実施タイミングをご確認ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本番組織の場合、インストール作業後、弊社担当がインストール実施を検知し、ご契約ライセンス数の設定を行います。 上記設定作業後、ユーザーにライセンス割り当ていただきます。</li> <li>Sandboxの場合、上記作業を行わないため、そのままではずっと「SF全体がライセンスされる状態」のままとなります。開発検証などで必要な場合、担当営業・CSにご相談ください。</li> </ul>
3	Todoオブジェクトのレコードタイプ	インストール時、Todoオブジェクトにレコードタイプが設定されます。これまでTodoオブジェクトにレコードタイプ設定がされていない場合、右記のような事象が発生します。 事前に、Todoオブジェクトのレコードタイプを追加します。 ※作業詳細は次ページに記載	<p>Todoオブジェクトにレコードタイプ設定がされていない場合・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各レコードページのTodo関連ボタン（【活動の記録】ボタン、【新規Todo】ボタン等）が消える</li> <li>作成されたTodoが更新できない</li> </ul>

請求管理ロボ for Salesforceをインストールすると、Todoオブジェクトに2種のレコードタイプを追加します。

これにより、Todoオブジェクトにレコードタイプがない状態のSalesforce組織の場合、  
以下のような症状が出ます。

- Todoオブジェクトのレコードタイプが編集できない
- 【新規Todo】ボタンや【活動の記録】ボタンが非表示になる。

この回避のため、汎用的なTodoレコードタイプを設定します。

※ Todoオブジェクトに既にレコードタイプが設定されている場合は対応不要です。

## 2-3.タスク①：Todoオブジェクトのレコードタイプ設定 - 詳細 (1/4)

SF画面から【設定】>【オブジェクトマネージャー】>【Todo】>【レコードタイプ】から、Todoオブジェクトのレコードタイプを作成します。

The screenshot shows the Salesforce configuration interface for the 'ToDo' object. The breadcrumb path is '設定 > オブジェクトマネージャー > ToDo > レコードタイプ'. The page title is 'レコードタイプ' (Record Types) with a subtitle '2件の項目 (レコードタイプの表示ラベル順)'. A table lists existing record types: 'メール送付' and '停止・停止解除', both active and created by 'システム 管理者' on 2023/11/20 13:28. A '新規' (New) button is visible in the top right of the table area. Red callouts are placed as follows: 1. Gear icon in the top right navigation bar. 2. Breadcrumb path '設定 > オブジェクトマネージャー > ToDo'. 3. 'レコードタイプ' menu item in the left sidebar. 4. '新規' button in the top right of the table area.

レコードタイプの表示ラベル	説明	有効	更新者	
メール送付		✓	システム 管理者、2023/11/20 13:28	▼
停止・停止解除		✓	システム 管理者、2023/11/20 13:28	▼

## 2-3.タスク①：Todoオブジェクトのレコードタイプ設定 - 詳細 (2/4)

SF画面から【設定】>【オブジェクトマネージャー】>【Todo】>【レコードタイプ】から、Todoオブジェクトのレコードタイプを作成します。

レコードタイプ名、表示ラベルは任意の値で問題ありません。

5

レコードタイプ

既存のレコードタイプからコピーする

レコードタイプの表示ラベル

レコードタイプ名

説明

有効

6

プロフィール名	現在利用可能なレコードタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 使用可能に設定	<input checked="" type="checkbox"/> デフォルトに設定
Analytics Cloud Integration User	メール送付 (デフォルト), 停止・停止解除	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
システム管理者	メール送付 (デフォルト), 停止・停止解除	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ソリューション管理者	メール送付 (デフォルト), 停止・停止解除	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
マーケティングユーザー	メール送付 (デフォルト), 停止・停止解除	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
契約管理者	メール送付 (デフォルト), 停止・停止解除	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
標準 Platform ユーザー	メール送付 (デフォルト), 停止・停止解除	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
標準ユーザー	メール送付 (デフォルト), 停止・停止解除	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

7

全てのプロフィールを利用可能&デフォルトに設定してください。

標準的なページレイアウトを適用してください。

8

ステップ 2. ページレイアウトを割り当て

ToDo レコードタイプ 汎用

レコードタイプ名 Standard

説明 Todoオブジェクトの汎用レコードタイプ

このプロフィールを持つユーザーがこのレコードタイプのレコードを参照するページレイアウトを選択してください。保存後にこのレコードタイプで利用可能な選択リストの値を選択してください。

9

1つのレイアウトをすべてのプロフィールに適用する

プロフィール名	レイアウト
High Volume Customer Portal User	ToDo レイアウト
Identity User	ToDo レイアウト
Minimum Access - Salesforce	ToDo レイアウト
Partner Community Login User	ToDo レイアウト
Partner Community User	ToDo レイアウト
Read Only	ToDo レイアウト
Salesforce API Only System Integrations	ToDo レイアウト
Work.com Only User	ToDo レイアウト
システム管理者	ToDo レイアウト
ソリューション管理者	ToDo レイアウト
マーケティングユーザー	ToDo レイアウト
契約管理者	ToDo レイアウト
標準 Platform ユーザー	ToDo レイアウト
標準ユーザー	ToDo レイアウト

## 2-3.タスク①：Todoオブジェクトのレコードタイプ設定 - 詳細 (3/4)

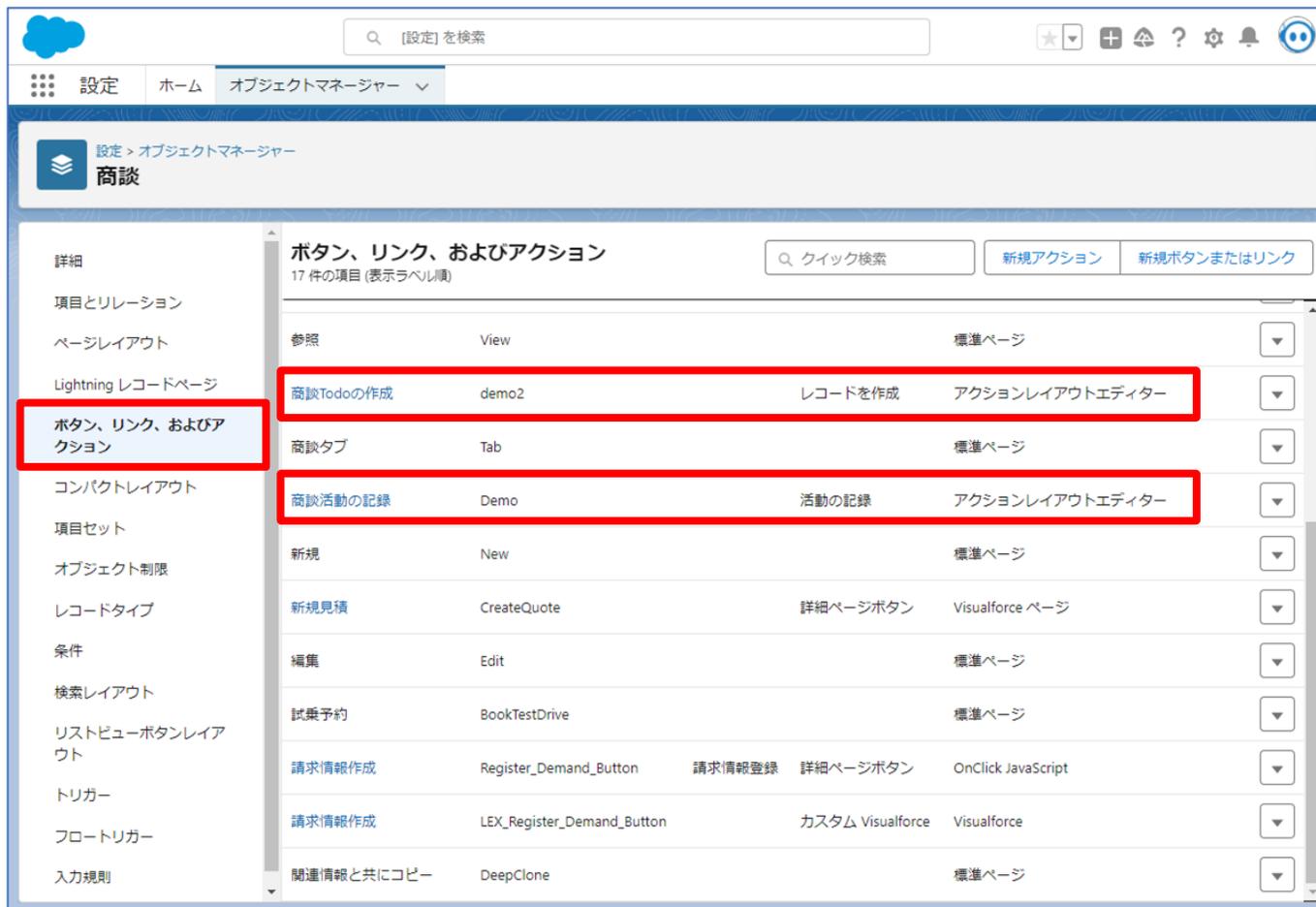
SF画面から【設定】 > 【ユーザーインターフェース】 > 【グローバルアクション】 > 【グローバルアクション】 から、Todoオブジェクトのグローバルアクションを編集します。

アクション	表示ラベル	名前	説明	対象オブジェクト	種別	コンテンツソース	アイコン
編集   レイアウト	メール	SendEmail	メールを送信	アクションレイアウトエディター			
編集   削除   レイアウト	メール	SendEmail	メールを送信	アクションレイアウトエディター			
編集   削除   レイアウト	活動の記録	LogADall	活動の記録	アクションレイアウトエディター			
編集   削除   レイアウト	新規ToDo	NewTask	ToDo	レコードを作成	アクションレイアウトエディター		
編集   削除   レイアウト	新規グループ	NewGroup	グループ	レコードを作成	アクションレイアウトエディター		
編集   削除   レイアウト	新規行動	NewEvent	行動	レコードを作成	アクションレイアウトエディター		
編集   削除   レイアウト	新規取引先	NewAccount	取引先	レコードを作成	アクションレイアウトエディター		
編集   削除   レイアウト	新規取引先責任者	NewContact	取引先責任者	レコードを作成	アクションレイアウトエディター		
編集   削除   レイアウト	新規商談	NewOpportunity	商談	レコードを作成	アクションレイアウトエディター		

レコードタイプを前項までで作成したもので指定して保存します。

編集対象は【新規ToDo】 【活動の記録】 の2つです。

オブジェクト毎にオブジェクト固有アクションでTodoオブジェクトを利用するものがある場合は、それも同様に対応してください。以下は、画面イメージを示すための例です。



参照	View	標準ページ	
商談Todoの作成	demo2	レコードを作成	アクションレイアウトエディター
商談タブ	Tab		標準ページ
商談活動の記録	Demo	活動の記録	アクションレイアウトエディター
新規	New		標準ページ
新規見積	CreateQuote	詳細ページボタン	Visualforce ページ
編集	Edit		標準ページ
試乗予約	BookTestDrive		標準ページ
請求情報作成	Register_Demand_Button	請求情報登録	詳細ページボタン OnClick JavaScript
請求情報作成	LEX_Register_Demand_Button	カスタム Visualforce	Visualforce
関連情報と共にコピー	DeepClone		標準ページ

### 参考画面です

- グローバルアクション以外に、オブジェクト内の固有アクションが定義できます。機能はグローバルアクションと同じです。
- こちらも、グローバルアクション同様にレコードタイプ設定の対応が必要です。
- どのオブジェクトに対象アクションがあるかは、弊社では判断できかねます。自社環境調査の上、ご対応をお願いします。

# ※参考：対応しない場合の姿

The screenshot shows a CRM interface for a sales conversation. At the top, there's a navigation bar with 'セールス' (Sales) selected. Below it, the conversation title is 'セールスフォース・ドットコム - 機器導入 5,000台'. A progress bar shows the conversation is in the '商談成立' (Deal Closed) phase. The main area is divided into '活動' (Activities) and 'Chatter'. In the '活動' section, there are buttons for '新規行動' (New Action) and 'メール' (Email). A 'Todo' list is visible below, with a red error message: 'このToDoを更新するときに問題が発生しました。このToDoを参照する権限がありません。' (An error occurred when updating this To Do. You do not have permission to reference this To Do.).

【Todo】オブジェクトにレコードを作るアクションが表示されなくなります。

【Todo】オブジェクトのレコード更新時、権限エラーになります。

## 3. インストールと接続

1. Salesforceに【請求管理ロボ for Salesforce】をインストールします。
2. Salesforce・請求管理ロボの接続を設定します。

## 3-1. インストールと接続 - 概要

以下のタスクが完了すると、【Salesforce⇔請求管理ロボでデータのやり取りができる】状態になります。

#	タスク	タスク概要	作業箇所
2	インストールの実施	Salesforceに、【請求管理ロボ for Salesforce】をインストールします。 1. インストール時、権限付与先のプロファイルを指定します。	
3	SSO設定の実施	Salesforceに、【請求管理ロボ for Salesforce】にSSOするための設定を行います。 1. 接続アプリケーション設定を変更して、SSO可能なプロファイルを指定します。	
4	API接続設定の実施	Salesforceに、【請求管理ロボ for Salesforce】とAPI通信するための設定を行います。 1. 請求管理ロボ上で、APIアクセスキー（認証情報）を払い出します。 2. Salesforce上の設定情報として、APIアクセスキーを保存します。	 

## 3-2. タスク②：インストールの実施（1/3）

弊社担当から、請求管理ロボ for SalesforceのインストールURL情報を取得してください。取得後インストールURLを開いて、インストール先組織を認証してください。

1. インストールURL情報は、弊社担当者にお問合せ下さい。
2. 本番・SandboxでURLが異なります。  
インストール先にご注意ください

<Ver1.33パッケージ情報>

<本番環境用>

[https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t\[REDACTED\]Gk](https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t[REDACTED]Gk)

<SandBox 環境用>

[https://test.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t\[REDACTED\]Gk](https://test.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t[REDACTED]Gk)

※PW は共通で [REDACTED] となります。

※次項で利用します。



ログイン | Salesforce

login.salesforce.co...

3. インストール先のシステム管理者で  
ログインしてください

salesforce

ユーザー名 9件の保存されたユーザー名

robo-cs-sfapp[REDACTED]@robotpay

パスワード

[REDACTED]

ログイン

ログイン情報を保存する

パスワードをお忘れですか? カスタムドメインを使用

カスタマーユーザーではありませんか?

無料トライアル

## 3-2. タスク②：インストールの実施（2/3）

インストール先を確認の上、インストールユーザーを指定してください。

1. インストール先のSF組織のドメインであることを確認してください。

2. 前項で確認した、インストールキーを入力してください。

3. 権限付与先となるユーザを選んでください。【すべてのユーザーのインストール】を推奨します。

4. インストール

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
請求管理ロボ for Salesforce	経理のミカタ開発	請求管理ロボ for Salesforce	1.33

その他の詳細 [コンポーネントを表示](#)

5. はい

6. 次へ

チェックをONにして、【次へ】を押してください。5分程度でインストール完了のメールが届きます。

## 3-2. タスク②：インストールの実施（3/3）

インストール完了メールが届いたら、SF画面から【設定】>【アプリケーション】>【パッケージ】>【インストール済みパッケージ】画面を開き、インストールされたことを確認してください。

1

2

3

4

【インストール済みパッケージ一覧】に、【請求管理ロボ for Salesforce】があることを確認してください。

アクション	パッケージ名	公開者	バージョン番号	名前空間プレフィックス	状況	許可されているライセンス数	使用ライセンス	プラットフォームインテグレーションに対して有効化済み	有効期限	インストール日	制限	アプリケーション	タブ	オブジェクト	AppExchange 準備完了
アンインストール   ライセンスの管理	請求管理ロボ for Salesforce	経理のミカが開発	1.33	KEIRINOMKATA	トライアル	Unlimited	0		2023/12/20	2023/11/20 13:32		3	20	25	合格

### 3-3. タスク③ : SSO設定の実施 (1/4)

接続アプリケーション【請求管理ロボ for Salesforce】の設定を変更します。【設定】 > 【アプリケーション】 > 【接続アプリケーション】 > 【接続アプリケーションを管理する】画面を開いてください。

1: Settings icon in the top right corner.

2: Search bar containing 'アプリケーションを管理する'.

3: '接続アプリケーションを管理する' link in the left sidebar.

4: Table listing applications, with '請求管理ロボ for Salesforce' highlighted.

アクション	マスター表示ラベル	アプリケーションバージョン	許可されているユーザー
編集	請求管理ロボ for Salesforce	253.0	すべてのユーザーは自己承認可能

【接続アプリケーション】に、【請求管理ロボ for Salesforce】があることを確認してください。

5: 'ポリシーを編集' button.

次項でこの値を変更します

インストール実行者	システム 管理者	インストール日	2023/11/20 13:30
最終更新者	システム 管理者	最終更新日	2023/11/20 13:30

許可されているユーザー	すべてのユーザーは自己承認可能	IP 制限の緩和	IP 制限を適用
利用状況	OAuth 利用状況を表示	更新トークンポリシー	更新トークンは取り消されるまで有効
シングルログアウト	シングルログアウトが無効になりました	アプリケーション権限	いつでも要求を実行 フルアクセス

### 3-3. タスク③ : SSO設定の実施 (2/4)

#### OAuthポリシーを変更してください

接続アプリケーション  
請求管理ロボ for Salesforce

接続アプリケーションの編集

基本情報

OAuth ポリシー

セッションポリシー

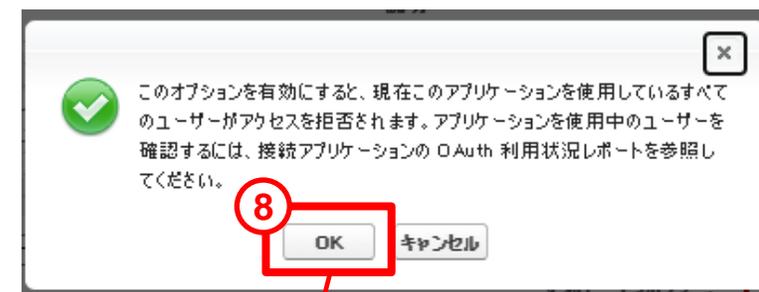
カスタム接続アプリケーションハンドラー

ユーザープロビジョニング設定

【OAuthポリシー】 > 【許可されているユーザー】を以下の通り変更してください。

前：すべてのユーザーは自己承認可能

後：管理者が承認したユーザーは事前承認済み



保存時、以下の注意画面が表示されます。【OK】ボタンを押してください（この注意に該当しないため、無視で問題ありません）

### 3-3. タスク③ : SSO設定の実施 (3/4)

接続アプリケーション【請求管理ロボ for Salesforce】の利用可能プロフィールを設定します。



前項の手順を実施すると【プロフィール】欄が現れます。  
【プロフィールを管理する】ボタンを押してください。



請求管理ロボを利用するプロフィールをONにして、保存してください。

**設定するプロフィールがカスタムプロフィールの場合、プロフィールの権限設定で「設定・定義を参照する」に、チェックをつけてください**

### 3-3. タスク③ : SSO設定の実施 (4/4)

【請求管理ロボ (設定)】アプリケーション> 【請求元設定】タブを開き、請求管理ロボにSSO出来ることを確認します。

【請求元設定】タブを開くと、SF画面の内側に、請求管理ロボ画面が開きます  
※この時、SFユーザー→ロボユーザー情報を用いたSSOがなされます。



【請求管理ロボ (設定)】アプリケーションを開きます。



#### 【ご注意】

SSOログインには、請求管理ロボに対応するユーザーが必要です。  
本番環境の初回ログイン時は、ご契約申込時ご指定のSalesforceユーザーが  
SSO出来るように設定されております。  
うまくログインできない場合は、弊社担当にお問合せください。

本タスクが進められない場合は、

[【タスク⑫ : SFユーザーへのライセンス割り当て】](#)

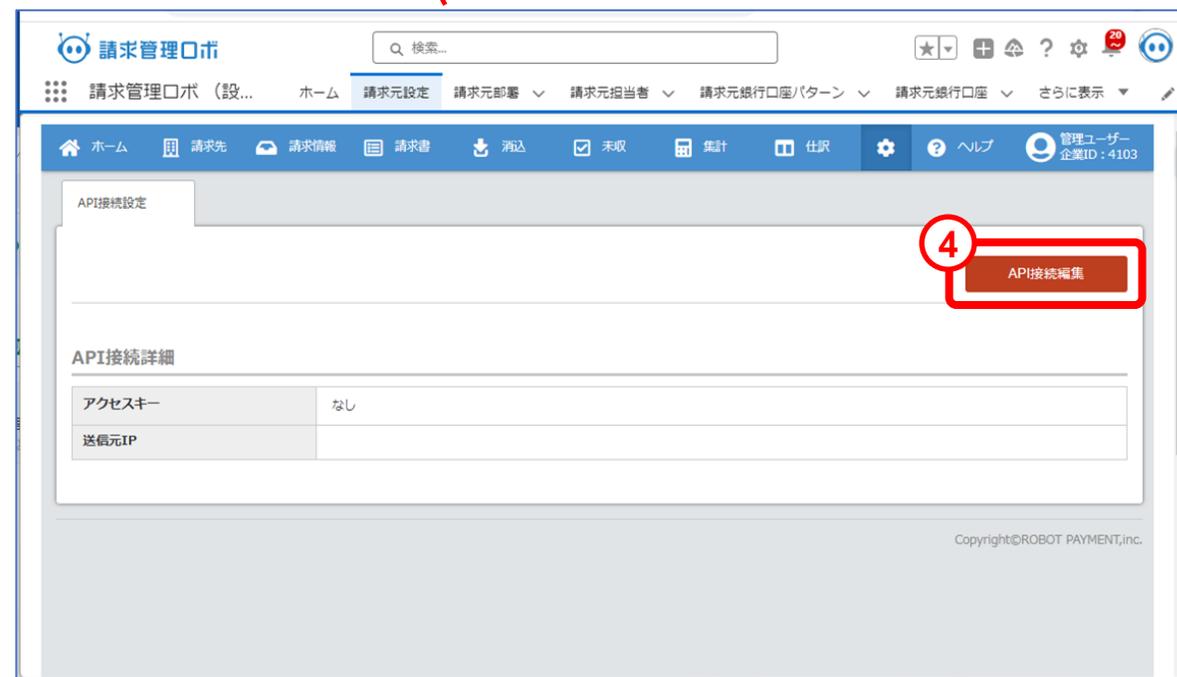
を先に実施してください。

## 3-4. タスク④：API接続設定の実施（1/4）

【請求管理ロボ】 > 【設定】 > 【API接続設定】 から【API接続編集】 ボタンを押して、編集画面を開きます。

【請求管理ロボ（設定）】 > 【請求元設定】 > 請求管理ロボ画面を開き、右上歯車マーク内の【API接続設定】 から、API接続設定画面を開きます。

API接続設定画面の【API接続編集】 ボタンを押し、編集画面を開きます。

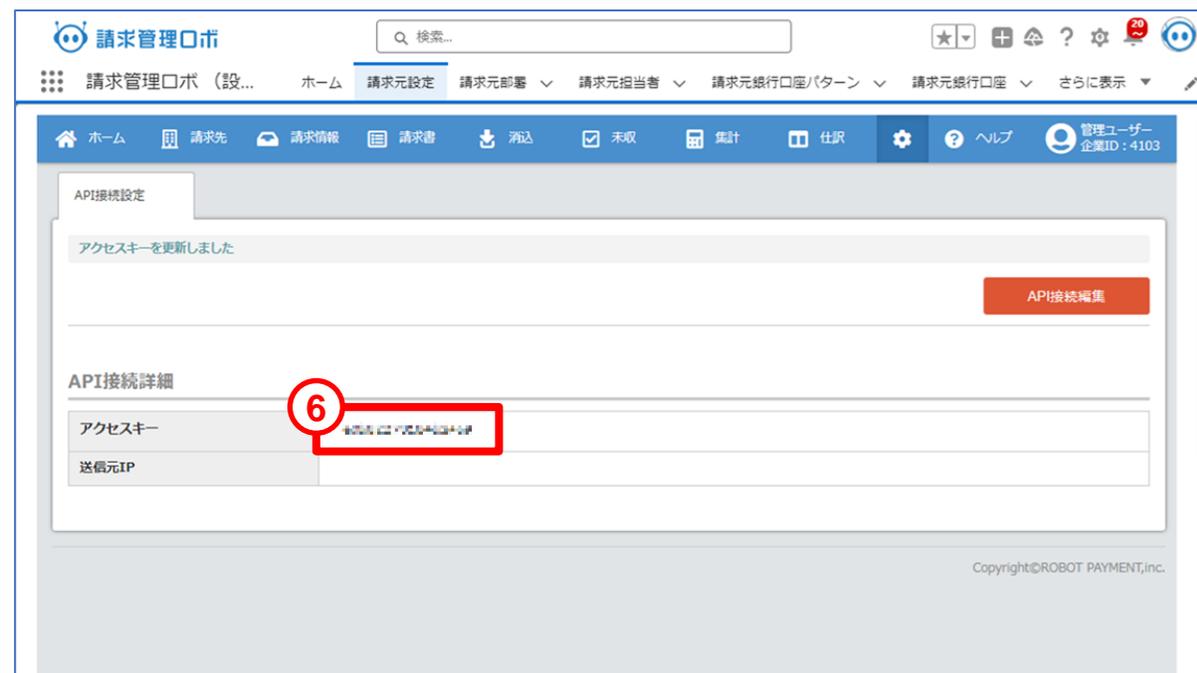
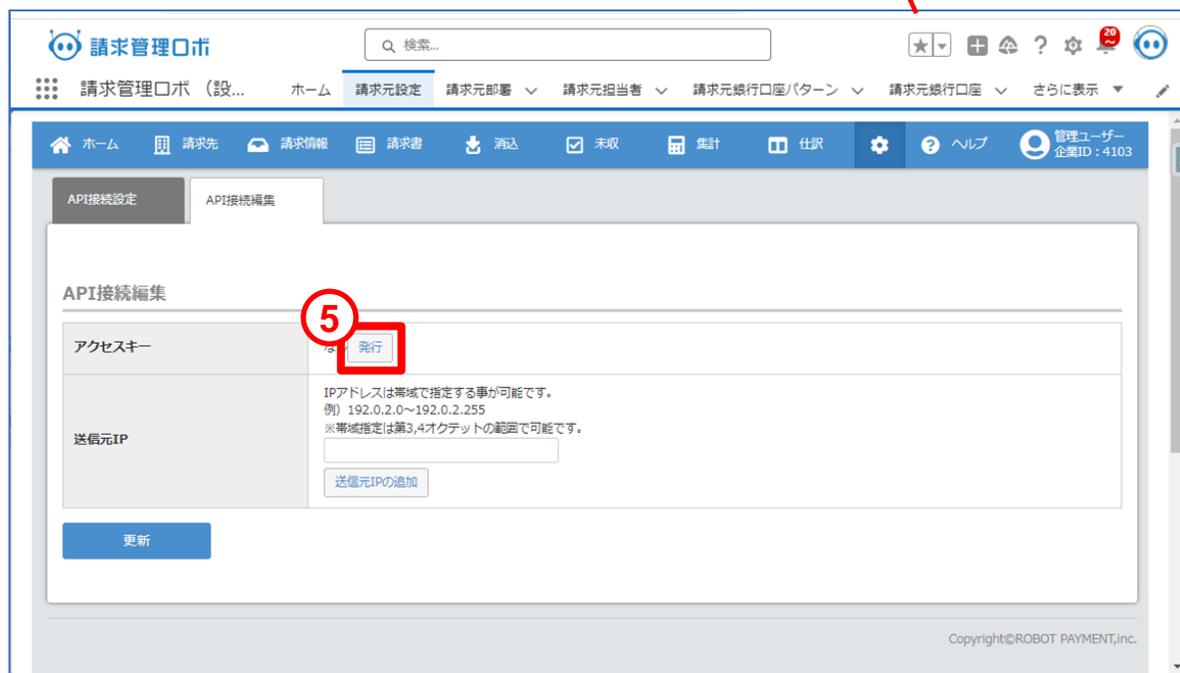


## 3-4. タスク④：API接続設定の実施（2/4）

APIアクセスキーを発行します。

【発行】ボタンを押下します。

※ APIアクセスキーが発行され、右の画面に遷移します。



## 3-4. タスク④：API接続設定の実施（3/4）

SF画面に戻り、【設定】 > 【カスタムコード】 > 【カスタム設定】 から、【請求管理ロボ設定】を開きます

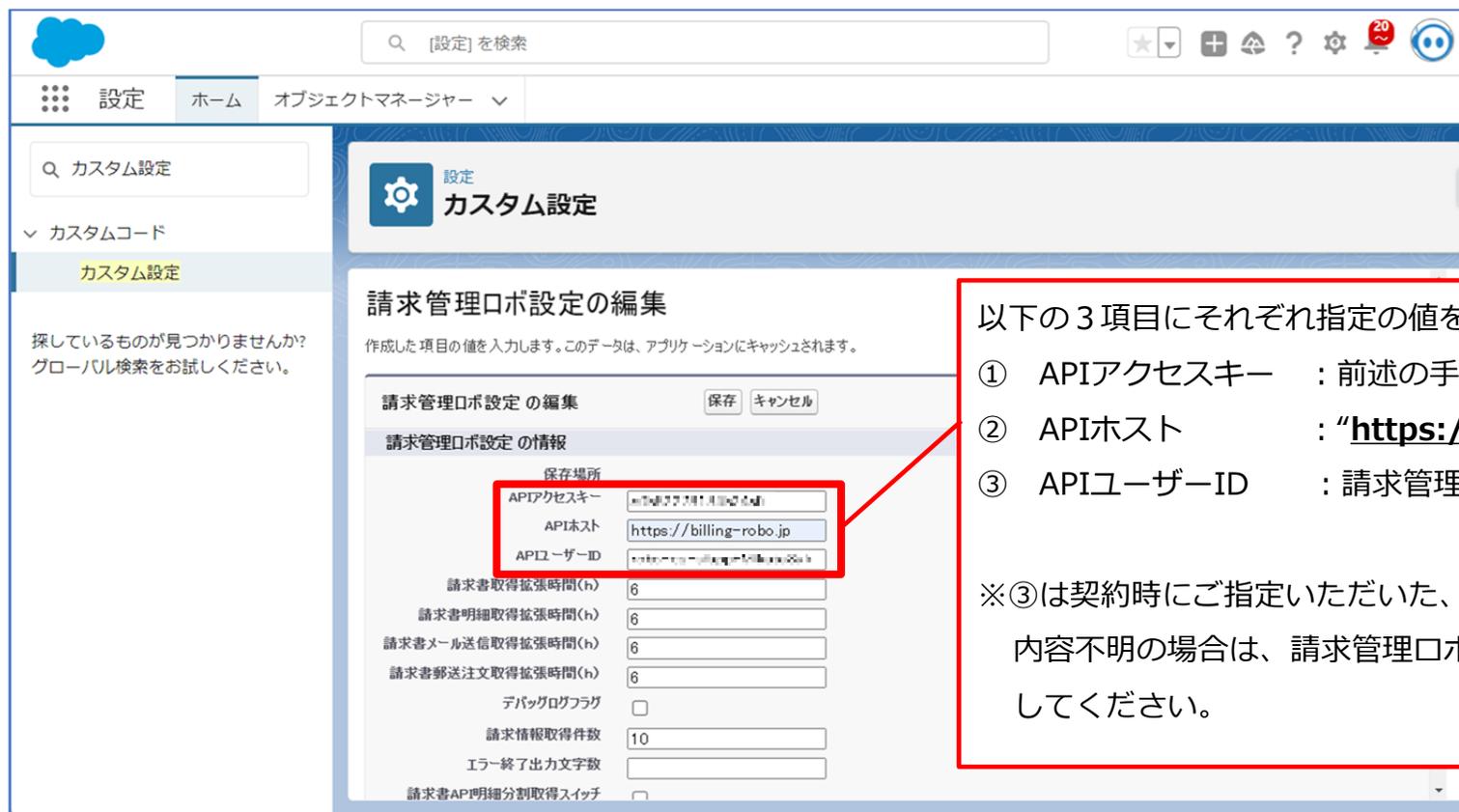
【設定】 > 【カスタムコード】 > 【カスタム設定】 > 【請求管理ロボ設定】 から、アクション：【Manage】をクリックします。

【請求管理ロボ設定】画面を開き、画面上部の【新規】ボタンを押下します。  
※【請求管理ロボ設定】は、SF組織全体のデフォルト設定のみ利用します。  
インストール直後はデフォルト設定値がない為、まず新規登録を行います。



## 3-4. タスク④：API接続設定の実施（4/4）

カスタム設定【請求管理ロボ設定】に【APIアクセスキー】等の認証情報を設定します。



設定  
ホーム オブジェクトマネージャー

カスタム設定

設定  
カスタム設定

### 請求管理ロボ設定の編集

作成した項目の値を入力します。このデータは、アプリケーションにキャッシュされます。

請求管理ロボ設定の編集 保存 キャンセル

#### 請求管理ロボ設定の情報

保存場所

APIアクセスキー	<input type="text"/>
APIホスト	<input type="text" value="https://billing-robo.jp"/>
APIユーザーID	<input type="text"/>

請求書取得拡張時間(h)

請求書明細取得拡張時間(h)

請求書メール送信取得拡張時間(h)

請求書郵送注文取得拡張時間(h)

デバッグログフラグ

請求情報取得件数

エラー終了出力文字数

請求書API明細分割取得スイッチ

以下の3項目にそれぞれ指定の値を設定して保存してください

- ① APIアクセスキー : 前述の手順で発行したAPIアクセスキーの値
- ② APIホスト : **“https://billing-robo.jp”**
- ③ APIユーザーID : 請求管理ロボ側の登録ユーザーのメールアドレス

※③は契約時にご指定いただいた、請求管理ロボログイン用メールアドレスとなります。  
内容不明の場合は、請求管理ロボのユーザー一覧画面を参照してメールアドレスを確認してください。

※上図は画面イメージです。最新バージョンとは異なる場合があります。

## 4. 請求管理ロボ for Salesforceの設定

1. Salesforce.com上の、請求管理ロボ for Salesforceについて、各種システム設定を登録します。
2. Salesforce.com上で動作する定時処理をタイマー登録します。
3. その他Salesforceオブジェクトに対する個別対応を行います。

## 4-1. 請求管理ロボ for Salesforceの設定 - 概要

以下のタスクが完了すると、【請求管理ロボ for Salesforceが適切に動作する】状態になります。

#	タスク	タスク概要	作業箇所
5	初期設定の実施	Salesforce上の【請求管理ロボ for Salesforce】の初期設定を行います。 設定箇所が二か所ありますので、ご注意ください。 1. 【カスタム設定】に初期設定を行います	
6	APEXジョブの登録	Salesforce上で動作する定時バッチ処理を設定します。 1. バッチ機能一覧を参照し、設定すべき処理を判断します。 2. 実際にバッチ処理を設定します。	
7	データ登録補助機能の設定	Salesforce上の請求管理ロボ関連オブジェクトにデータを登録する際の登録補助機能をご用意しております。(例：取引先コードの自動採番) 必要に応じて、機能の有効化設定をお願いします。 1. 機能一覧を参照し、設定すべき機能を判断します。 2. 機能の有効化設定をします。	



## 4-2. タスク⑤：初期設定の実施 - カスタム設定（2/6）

【カスタム設定】：【請求管理ロボ設定】の意味合いと各項目の設定推奨値は以下の通りです。

#	項目	項目の意味	設定内容
1	APIホスト	SFから請求管理ロボにAPI連携する際の接続先を指定します。	<a href="https://billing-robo.jp">https://billing-robo.jp</a> ※変更不可
2	APIユーザーID	SFから請求管理ロボにAPI連携する際のロボ側の実行ユーザーを指定します。	請求管理ロボ側の登録ユーザーのメールアドレス
3	APIアクセスキー	SFから請求管理ロボにAPI連携する際のAPI認証情報を指定します。	前述の手順で発行したAPIアクセスキーの値
4	組織ドメイン	SF組織のドメインを指定します。 Salesforce>【設定】>【会社の設定】>【私のドメイン】で、【現在の [私のドメイン] の URL】を確認してください。 「 [私のドメイン] の URL」の先頭、「https://」を付与いただく形となります。 例：https://keirinomikatademo.my.salesforce.com	https://【確認した私のドメインの URL】
5	通知先 1	任意項目です。	任意のメールアドレス
6	通知先 2	API連携エラーが発生した際、こちらに指定いただいたアドレスに通知メールが飛びます。	※空白でも可
7	通知先 3		

## 4-2. タスク⑤：初期設定の実施 - カスタム設定 (3/6)

#	項目	項目の意味	設定内容
8	請求書取得拡張時間 (h)	請求管理ロボ⇒SFにデータを連携する際、バッチ実行中に更新された請求書も処理対象に含められるようにするための取得範囲を指定します。 ※弊社システム都合のため変更不可  補足説明： <a href="#">請求書関連処理における実施対象請求書指定の設定変更</a> (ヘルプ)	6
9	請求書明細取得拡張時間 (h)		
10	請求書メール送信取得拡張時間 (h)		
11	請求書郵送注文取得拡張時間 (h)		
12	請求書取得件数	請求管理ロボ⇒SFにデータを連携する際の一回当たりの取得件数を指定します。 設定可能範囲は「1~200」	200 (推奨値)
13	請求書明細取得件数		
14	請求情報取得件数		20 (推奨値)
15	入金情報取得件数		
16	消込結果明細取得件数		
17	正常終了出力文字数	請求書オブジェクト、請求書明細オブジェクトの取得処理のログ出力内容を制御します。	255 ※変更不可
18	エラー終了出力文字数		100,000 ※変更不可

## 4-2. タスク⑤：初期設定の実施 - カスタム設定 (4/6)

#	項目	項目の意味	設定内容
19	請求書リトライ間隔値 (分)	請求書参照が失敗した際等のリトライ処理実行の間隔 (分) を設定します。	30 (推奨値)
20	リトライ回数	請求書参照自動リトライ処理を実行する回数を設定します。	3 (推奨値)
21	消費税	請求管理ロボ側の商品マスタの規定消費税率に影響し、仕様上、ここで設定した値が商品マスタの消費税としてロボ連携されます。8以外は設定不可。 ※Salesforceの商品オブジェクト(Product2)の値は反映されません	8 ※変更不可
22	請求書API明細分割取得スイッチ	接続するAPIを指定します。 ON : 新APIで接続 OFF : 旧APIで接続 ※旧APIは2025年2月に廃止済みのため、利用不可	ON ※変更不可
23	無効請求書取得フラグ	無効になった請求書・請求書明細のデータを取り込むか設定します。 ON : 取り込む OFF : 取り込まない	ON (推奨値)

## 4-2. タスク⑤：初期設定の実施 - カスタム設定 (5/6)

#	項目	項目の意味	設定内容
24	会計ソフト連携用商品コード項目利用フラグ	請求情報オブジェクト「会計ソフト連携用商品コード」項目の値を連携します。 ON：連携する OFF：連携しない	ON (推奨値)
25	入金情報無効データ更新取り込み	無効になった入金情報のデータを取り込むか設定します。 ON：取り込む OFF：取り込まない ※無効の入金データ（取消など）も取り込むことが一般的なため	ON (推奨値)
26	デバッグログフラグ	パッケージ内に含まれるプログラムがログ出力するかどうか、を制御するフラグです。ONにした場合、API連携エラーが発生した際にドキュメントオブジェクト内のFolderCustomLogフォルダにエラーログファイルが格納されます。  ONにすると常時ドキュメントオブジェクトにログCSVが生成されるため、Salesforce環境のストレージを逼迫する可能性があるため、OFFにしておくことを推奨します。	OFF (推奨値)

## 4-2. タスク⑤：初期設定の実施 - カスタム設定 (6/6)

#	項目	項目の意味	設定内容
27	カスタム項目利用フラグ	請求情報オブジェクトに含まれる「カスタム項目」が連携可能となり、請求書テンプレートカスタマイズPROご利用時に、カスタム項目で設定した値を使用することができます。 ※カスタム項目機能は有償オプションとなります ご利用をご希望の場合は担当営業にお問合せください	OFF ※オプション契約を されている場合はON
28	バッチログ保持期間 (日)	バッチログの保持期間を指定します。 システムトラブル発生時などを考慮して1か月前後の保持期間を設定いただくことを推奨します	30
29	バッチログ削除サイズ	バッチサイズを指定します。 大きくすれば大きくするほど処理稼働期間が短くなりますが、システムエラーの発生確率が上がります。	1,000
30	強制終了の請求書明細件数	V1.38以降、利用廃止となりました。 初期値から変更不要です。	10,000(初期値)

## 4-3. タスク⑥ : APEXジョブの登録

請求管理ロボ for Salesforceには、APEXバッチ処理が含まれています。Salesforce上で、定時処理（APEXバッチ）登録することができます。別紙参照の上、必要なAPEXジョブを登録してください。

### ▼別紙 - 【請求管理ロボ for Salesforce】バッチAPEX一覧

<https://keirinomikata.zendesk.com/hc/ja/articles/29525010271129>

※APEXジョブの登録手順はSalesforceヘルプを参照ください

### ▼Apex ジョブのスケジュール

[https://help.salesforce.com/s/articleView?id=platform.code\\_schedule\\_batch\\_apex.htm&type=5](https://help.salesforce.com/s/articleView?id=platform.code_schedule_batch_apex.htm&type=5)

## キーコードの自動採番機能

本機能を利用される場合、以下のレコードトリガーフローを有効化してください。

#	表示ラベル	API参照名	備考
1	フロートリガ：取引先コード設定（取引先）	Flowtrigger_SetSeikyusakiCodeToAccount	レコード作成時に取引先コードを自動採番する
2	フロートリガ：請求先部署コード設定（請求先部署）	Flowtrigger_SetSeikyusakiCodeToSeikyusakibusho	レコード作成時に請求先部署コードを自動採番する
3	フロートリガ：決済情報コード設定（決済情報）	Flowtrigger_SetPaymentMethodCodeToPaymentMethod	レコード作成時に決済情報コードを自動採番する

### 【フローの有効化手順】

1. Salesforce の[設定]を開き、[クイック検索]に「フロー」と入力して、[フロー]を選択
2. 有効化するフローを選択
3. 右上の[有効化]を押す

### 請求先部署、決済情報の登録ボタンの追加 (1~5)

取引先オブジェクトのページレイアウトを編集して、必要なボタンの配置をしてください。フロー等でレコードを作成する場合は不要です。  
※ 弊社パッケージの標準レイアウトは【請求管理ロボ 取引先レイアウト】です。貴社の適切なレイアウトを編集してください

#	表示ラベル	API参照名	備考
1	請求先部署作成 (直接契約顧客)	BillingIndividualDirectRegQA	以下のレコードタイプのレコードを作成する。 レコードタイプ：直接契約顧客
2	決済情報作成 (銀振)	PaymentMethodRegBankTransferRegQA	以下のレコードタイプのレコードを作成する。 レコードタイプ：00:銀行振込
3	決済情報作成 (クレカ)	PaymentMethodCreditCardRegQA	以下のレコードタイプのレコードを作成する。 レコードタイプ：01:クレジットカード
4	決済情報作成 (バンクチェック)	PaymentMethodBankCheckRegQA	以下のレコードタイプのレコードを作成する。 レコードタイプ：02:バンクチェック
5	決済情報作成 (RP口座振)	PaymentMethodAccountTransferRegQA	以下のレコードタイプのレコードを作成する。 レコードタイプ：03:RP口座振替

#### 【推奨設定】

- #1「請求先部署作成 (直販)」ボタンを追加することで、請求先部署レコードを効率的に登録できます
- #2~5 貴社ご請求に利用される決済手段のボタンを追加することで、決済情報レコードを効率的に登録できます

### 請求先部署、決済情報の登録ボタンの追加 (6~10)

取引先オブジェクトのページレイアウトを編集して、必要なボタンの配置をしてください。フロー等でレコードを作成する場合は不要です。  
 ※ 弊社パッケージの標準レイアウトは【請求管理ロボ 取引先レイアウト】です。貴社の適切なレイアウトを編集してください

#	表示ラベル	API参照名	備考
6	決済情報作成 (その他口振)	PaymentMethodOtherAccountTransferRegQA	以下のレコードタイプのレコードを作成する。 レコードタイプ：05:その他口座振替
7	決済情報作成 (バーチャル口座)	PaymentMethodVirtualAccountRegQA	以下のレコードタイプのレコードを作成する。 レコードタイプ：07:バーチャル口座
8	決済情報作成 (その他決済1)	PaymentMethodOtherPayment1RegQA	以下のレコードタイプのレコードを作成する。 レコードタイプ：08:その他決済1
9	決済情報作成 (コンビニ払込票 (ハガキ))	PaymentMethodPaymentSlipRegQA	以下のレコードタイプのレコードを作成する。 レコードタイプ：06:コンビニ払込票 (ハガキ)
10	決済情報作成 (コンビニ払込票 (A4))	PaymentMethodPaymentSlipA4RegQA	以下のレコードタイプのレコードを作成する。 レコードタイプ：15:コンビニ払込票 (A4)

#### 【推奨設定】

- #6~10 貴社ご請求に利用される決済手段のボタンを追加することで、決済情報レコードを効率的に登録できます

## 5 . Salesforce画面の最適化

1. ページレイアウトの設定を行います。
2. レコードページの設定を行います。
3. リストビューボタンの設定を行います。

## 5-1. Salesforce画面の最適化 - 概要

Step 3 が終わると、【請求管理ロボ for Salesforceの項目がアクセスできる】状態になります。

#	タスク	タスク概要	作業箇所
8	ページレイアウトの設定	<p>【請求管理ロボ for Salesforce】は一部標準オブジェクト利用があります。 ページレイアウトの編集をいただく必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. ページレイアウトの編集（項目詳細/関連リスト/ボタン）</li></ol>	
9	レコードページの設定	<p>【請求管理ロボ for Salesforce】は一部標準オブジェクト利用があります。 レコードページの編集をいただく必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. レコードページの編集</li></ol>	
10	コンパクトレイアウトの設定	<p>【請求管理ロボ for Salesforce】は一部標準オブジェクト利用があります。 コンパクトレイアウトの編集を行うことで、操作性、視認性が上がります。</p>	
11	リストビューボタンの表示設定	<p>【請求管理ロボ for Salesforce】は一部標準オブジェクト利用があります。 リストビューボタンの変更を行うことで、一括作業がしやすくなります。</p>	

## 5-2. タスク⑧：ページレイアウトの設定 - 概要

取引先・商談・商品の3オブジェクトは、請求管理ロボ for Salesforce上で利用されています。  
それらのページレイアウトについて、項目の追加、ボタンの追加、関連リストの追加を行ってください。

#	タスク	タスク概要	備考
1	項目詳細への項目追加	各オブジェクトに、弊社製品用のページレイアウトが含まれています。 その内容を参考に項目配置を行ってください。 ※ 作業イメージを後述します。	各社ごとに配置の正解は異なります。 おそれいりますが、貴社でベストな配置をご確認ください。
2	ボタンの追加	各オブジェクトに、弊社製品用のページレイアウトが含まれています。 その内容を参考にボタン配置を行ってください。 ※ 作業イメージを後述します。	各社ごとに配置の正解は異なります。 おそれいりますが、貴社でベストな配置をご確認ください。
3	関連リストの追加	各オブジェクトに、弊社製品用のページレイアウトが含まれています。 その内容を参考に関連リスト追加を行ってください。 ※ 作業イメージを後述します。	

## 5-2. タスク⑧：ページレイアウトの設定 - 取引先 (1/2)

以下の要領で現在ご利用中のページレイアウトに、ボタンと項目を追加してください。

項目	値
取引先コード	サンプルテキスト
ロボで開く	サンプルテキスト
操作ステータス	サンプルテキスト
連携済み	✓
情報同期フラグ	サンプルテキスト
エラーメッセージ	サンプルテキスト
停止フラグ	サンプルテキスト
停止済みフラグ	✓
作成者	サンプルテキスト
最終更新者	サンプルテキスト

以下のボタンを追加してください。

- ・ 請求管理ロボへ登録
- ・ 請求管理ロボへ停止登録処理
- ・ 請求管理ロボへ停止解除処理

また、必要に応じてP.39~40のアクションボタンを追加してください。

赤枠で囲った項目を追加してください。

※ 【取引先コード】以外は、画面表示されていなくても実害ありませんが、原則画面に追加いただくことを推奨します

## 5-2. タスク⑧：ページレイアウトの設定 - 取引先 (2/2)

以下の要領で現在ご利用中のページレイアウトに、関連リストを追加してください。

設定 > オブジェクトマネージャー  
取引先

保存 適用 指定した形式でプレビュー... キャンセル 元に戻す やり直し レイアウトのプロパティ

詳細  
項目とリレーション  
ページレイアウト  
Lightning レコードページ  
ボタン、リンク、およびアクション  
コンパクトレイアウト  
項目セット  
オブジェクト制限  
レコードタイプ  
条件  
検索レイアウト  
リストビューボタンレイアウト  
階層の列  
Scoping Rules  
オブジェクトアクセス  
トリガー  
フロントリガー  
入力規則  
項目の条件付き書式

請求先部署  
新規 | 所有者の変更  
請求管理ロボへ登録処理  
請求管理ロボへ停止登録処理  
請求管理ロボへ停止解除処理

請求先部署名	レコードタイプ	連携済み	停止済み
サンプルテキスト	サンプルテキスト	✓	✓

決済情報  
新規 | 所有者の変更  
請求管理ロボへ登録処理  
請求管理ロボへ停止登録処理  
請求管理ロボへ停止解除処理

決済手段名	レコードタイプ	登録状態	停止済み
サンプルテキスト	サンプルテキスト	サンプルテキスト	✓

請求情報  
新規 | 所有者の変更  
請求管理ロボへ登録処理  
請求管理ロボへ停止処理  
請求書発行  
売上無効化処理ページへ移動

請求情報名	商品名	小計	請求情報ステータス	次回請求発行日	売上計上済み請求書発行済	操作ステータス	連携済み	停止済み	振替同期フラグ
サンプルテキスト	サンプルテキスト	¥123	サンプルテキスト	2025/01/08	✓	サンプルテキスト	✓	✓	サンプルテキスト

請求書  
新規 | 所有者の変更  
郵送注文  
請求書メール送信  
無効化

請求書名	請求金額合計	未済込金額	請求書ダウンロードURL	発行手段	発行期限	納込ステータス	停止済みフラグ
サンプルテキスト	¥123	¥123	http://www.salesforce.com/ip	サンプルテキスト	2025/01/08	サンプルテキスト	✓

取引先履歴  
このリストはカスタマイズできません

以下の関連リストを追加してください。

- 請求先部署
- 決済情報
- 請求情報
- 請求書
- 取引先履歴

※各関連リストには、関連リスト対象オブジェクトのリストボタンが配置できます。

リストボタンの内容と利用推奨度は下記別紙をご参照ください。

**【別紙】アクションボタン一覧.xlsx**

## 5-2. タスク⑧：ページレイアウトの設定 - 商談 (1/2)

以下の要領で現在ご利用中のページレイアウトに、ボタンと項目を追加してください。

※ 任意設定です。商談から請求情報を作る場合のみご対応ください。

The screenshot shows the Salesforce page layout editor for 'Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション'. The left sidebar contains navigation options like '詳細', '項目とリレーション', 'ページレイアウト', 'Lightning レコードページ', etc. The main area shows the '請求情報作成' button highlighted with a red box. Below it, the '請求情報デフォルト設定' section is also highlighted with a red box, containing fields for '請求先部署', '請求先部署', and '請求方法'. The right side of the page shows various data points like '金額 ¥123', '期待収益 ¥123', '完了予定日 2025/10/15', etc.

【請求情報作成】ボタンを追加してください。

以下の項目を追加してください。

- 請求先部署
- 請求方法
- 決済情報
- 請求元担当者 ※利用する場合のみ追加してください

請求情報デフォルト設定  
請求先部署 サンプルテキスト  
請求方法 サンプルテキスト

追加情報 (編集ページのみヘッダーを表示)

## 5-2. タスク⑧：ページレイアウトの設定 - 商談 (2/2)

以下の要領で現在ご利用中のページレイアウトに、関連リストを追加してください。



設定 > オブジェクトマネージャー  
商談

保存 適用 指定した形式でプレビュー... キャンセル 元に戻す やり直し レイアウトのプロパティ

EL 取引先名  
EL 商談 所有者

関連リスト

商品	数量	販売価格	提供日	明細説明	合計金額	請求情報作成フラグ
サンプルテキスト	4257	¥123	2025/01/09	サンプルテキスト	¥123	✓

請求情報

請求情報名	商品名	小計	請求情報ステータス	次回請求書発行日	売上計上済み請求書発行待ち	操作ステータス	連携済み	停止済み	情報同期フラグ
サンプルテキスト	サンプルテキスト	¥123	サンプルテキスト	2025/01/09	✓	サンプルテキスト	✓	✓	サンプルテキスト

関連リスト【請求情報】を追加してください。

※各関連リストには、関連リスト対象オブジェクトのリストボタンが配置できます。

リストボタンの内容と利用推奨度は下記別紙をご参照ください。

**【別紙】アクションボタン一覧.xlsx**

## 5-2. タスク⑧：ページレイアウトの設定 - 商品 (1/2)

以下の要領で現在ご利用中のページレイアウトに、ボタンと項目を追加してください。

※ **任意設定です。商品勘定の運用をされる際のみご設定ください。**

設定 > オブジェクトマネージャー  
商品

保存 | 適用 | 指定した形式でプレビュー | キャンセル | 元に戻す | やり直し | レイアウトのプロパティ

Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション

編集 | 削除 | コピー | 請求管理ロボへ登録 | 請求管理ロボへ停止登録 | 請求管理ロボへ停止解除登録

商品の詳細

★ 商品名	サンプルテキスト	有効	✓
商品ファミリー	サンプルテキスト	商品コード	サンプルテキスト
商品説明	サンプルテキスト	請求管理ロボ連携用商品コード	サンプルテキスト
エラーメッセージ	サンプルテキスト	(見込用)商品グループセングラフ	サンプルテキスト
作成者	サンプルテキスト	最終更新者	サンプルテキスト

請求期間・回数設定

⇒ 請求回数	サンプルテキスト	⇒ 請求し期間	サンプルテキスト
⇒ 対象期間形式	サンプルテキスト	★ ⇒ 請求対象期間	サンプルテキスト

請求設定

税区分	サンプルテキスト	★ 請求タイプ	サンプルテキスト
消費税率	サンプルテキスト	単位	サンプルテキスト

補助科目設定

対応金補助科目コード	サンプルテキスト	高単金補助科目コード	サンプルテキスト
売上高補助科目コード	サンプルテキスト	売上高勘定科目コード	サンプルテキスト

請求管理ロボ連携状態 (詳細ページにのみヘッダーを表示)

連携ステータス	サンプルテキスト	停止フラグ	サンプルテキスト
連携済み	✓	停止済み	✓
連携再開フラグ	サンプルテキスト		

以下のボタンを追加してください。

- ・ 請求管理ロボへ登録
- ・ 請求管理ロボへ停止登録処理
- ・ 請求管理ロボへ停止解除処理

赤枠で囲った項目を追加してください。

## 5-2. タスク⑧：ページレイアウトの設定 - 商品 (2/2)

関連リストの追加は不要です。

設定 > オブジェクトマネージャー  
商品

保存 適用 指定した形式でプレビュー... キャンセル 元に戻す やり直し レイアウトのプロパティ

ここで拡張ルックアップとモバイル対応の Visualforce ページをドラッグして、それをモバイルカードとして表示します。

関連リスト

標準価格  
このリストはカスタマイズできません

価格表  
このリストはカスタマイズできません

請求情報  
新規 | 所有者の変更  
請求管理ロボへ停止処理  
売上無効化処理ページへ移動

請求情報名	商品名	小計	請求情報ステータス	次回請求発行日	売上計上済み請求書発行待ち	操作ステータス	連携済み	停止済み	情報同期フラグ
サンプルテキスト	サンプルテキスト	¥ 123	サンプルテキスト	2023/11/28	✓	サンプルテキスト	✓	✓	サンプルテキスト

活動履歴  
すべて表示

件名	期日	割り当て先
サンプルテキスト	2023/11/28 23:08	山田 太郎

弊社定義レイアウトには関連リストが出ていますが、  
実態として、関連リストが表示されているメリット  
はありません。設定不要です。

## 5-3. タスク⑨：レコードページの設定

ライトニングレコードページの配置見直しをおこなうことで利用体験が大きく向上します。弊社パッケージに含まれているレコードページを参考にカスタムいただけますと幸いです。※特に取引先や商品などの標準オブジェクトについて、見直しをお勧めします。

The screenshot shows the configuration interface for a Lightning Record Page. Key elements are annotated with blue boxes and arrows:

- 関連リストのクイックリンク**: Points to the top navigation bar containing quick links for '取引先責任者 (2)', '商談 (4)', '見積書 (3)', '請求先部署 (1)', '決済情報 (3)', '請求情報 (10+)', and '請求書 (10+)'. A red box highlights this entire bar.
- 関連リスト1つ**: Points to the '見積書利用住居連携' related list on the left side of the page.
- 【テンプレート】ヘッダー、サブヘッダー、左サイドバー**: Points to the 'テンプレート' section on the right, which is set to 'ヘッダー、サブヘッダー、左...'.
- 営業案件**: A red box highlights the '営業案件' tab in the main content area.
- Table of Business Cases**: A red box highlights a table with 4 rows of business cases. The table has columns for '商談名', 'フェーズ', '金額', and '完了予定日'.

商談名	フェーズ	金額	完了予定日
インキュベーション・テクノロジー ライセンス追加5ID年払い	08成約	¥500,000	2023/01/10
インキュベーション・テクノロジー ライセンス追加5ID/2月スタート	08成約	¥50,000	2023/01/06
インキュベーション・テクノロジー社1月開始 10ライセンス+初期	08成約	¥300,000	2022/12/19
インキュベーション・テクノロジー社 新規機能利用開始商談 (1月1...	08成約	¥250,000	2022/12/12

**ポイントは「業務実施タイミングごとにタブを分け、そのタイミングで使う関連リストをまとめて格納」です。**

## 5-4. タスク⑩：コンパクトレイアウトの設定

コンパクトレイアウトの表示項目の見直しをおこなうことで、レコードの主要項目が一目で確認できるように表示できます。弊社パッケージに含まれているコンパクトレイアウトを参考にカスタムいただけますと幸いです。  
※特に取引先や商談、商品などの標準オブジェクトについて、見直しをお勧めします。

**強調表示パネル**

**コンパクトレイアウト**

**ページレイアウト**  
↳Salesforce モバイルおよび Lightning Experience のアクション

**コンパクトレイアウトの動作確認**

強調表示パネルのコンテンツは、コンパクトレイアウトおよびページレイアウトから取得します。動的アクションが有効になっている場合、アクションは Lightning アプリケーションビルダーから取得しません。

コンパクトレイアウトを使用して項目を設定  
コンパクトレイアウトを割り当て

【請求管理ロボ】取引先コン... (プレビュー済み)

システムデフォルト  
すべてのレイアウトを表示

ページレイアウトを使用してアクションを設定  
ページレイアウトを割り当て

商談名	フェーズ	金額	完了予定日
インキュベーション・テクノロジー ライセンス追加50年払い	08. 成約	¥ 500,000	2023/01/10
インキュベーション・テクノロジー ライセンス追加50/2月スタ...	08. 成約	¥ 50,000	2023/01/06
インキュベーション・テクノロジー社1月開始 10ライセンス+初期	08. 成約	¥ 300,000	2022/12/19
インキュベーション・テクノロジー社 新規機能利用開始商談 (1月...	08. 成約	¥ 250,000	2022/12/12

## 5-5. タスク⑪：リストビューボタンの表示設定 - 概要

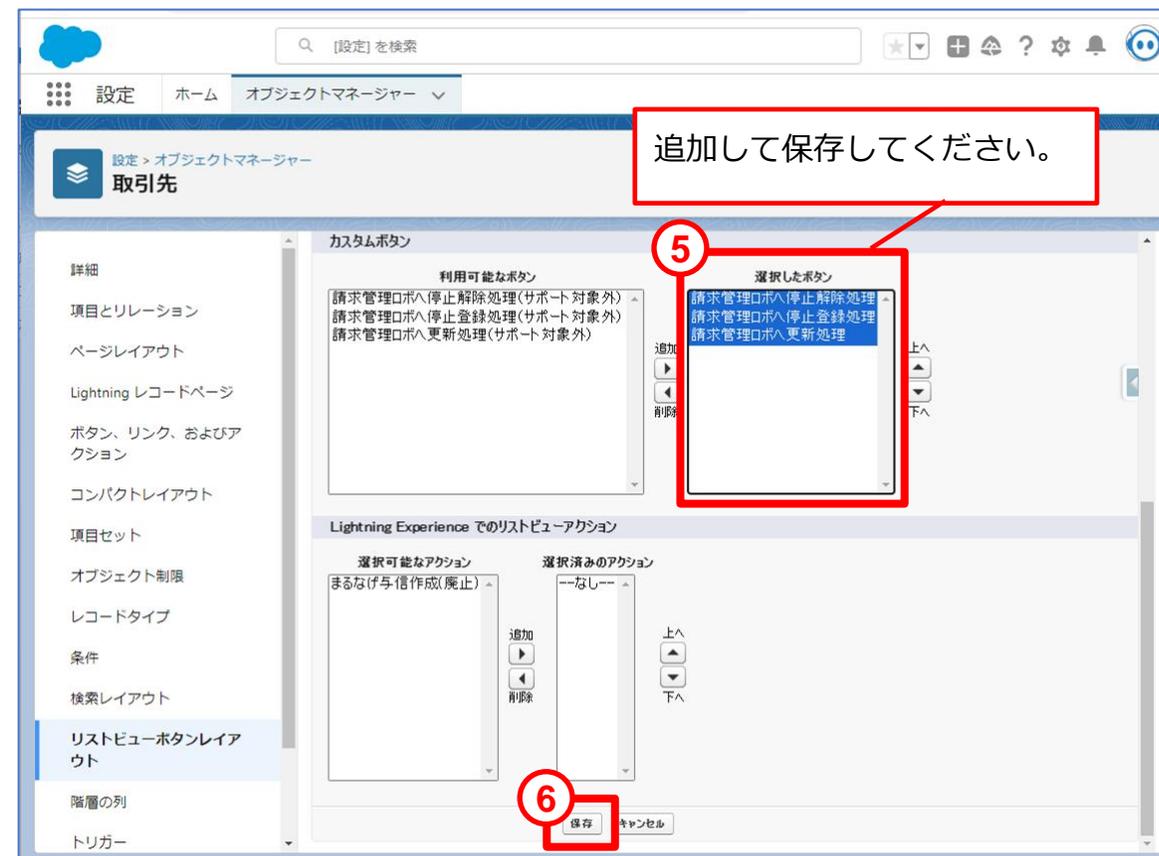
取引先・商品の2オブジェクトは、請求管理ロボ for Salesforce上で利用されています。  
リストビューでの一括アクションボタンが用意されております為、必要なものを追加いただければと存じます。

#	オブジェクト		ボタン配置先	ボタン内容		種別	設定推奨度	インストール時	用途	廃止済
	#	名前		枝番	ボタン名					
6	1	取引先	2_リストビュー/関連リスト	6	請求管理ロボへ更新処理	10_データ連携 (SF→ロボ)	2_任意	1_ボタン追加要	同名ボタンのリストビュー用。 リストビュー上での一括処理が可能。必要に応じて追加のこと。	0_有効
7	1	取引先	2_リストビュー/関連リスト	7	請求管理ロボへ停止登録処理	10_データ連携 (SF→ロボ)	2_任意	1_ボタン追加要	同名ボタンのリストビュー用。 リストビュー上での一括処理が可能。必要に応じて追加のこと。	0_有効
8	1	取引先	2_リストビュー/関連リスト	8	請求管理ロボへ停止解除処理	10_データ連携 (SF→ロボ)	2_任意	1_ボタン追加要	同名ボタンのリストビュー用。 リストビュー上での一括処理が可能。必要に応じて追加のこと。	0_有効
91	14	商品	2_リストビュー/関連リスト	7	請求管理ロボへ登録	10_データ連携 (SF→ロボ)	2_任意	1_ボタン追加要	同名ボタンのリストビュー/関連リスト用。	0_有効
92	14	商品	2_リストビュー/関連リスト	8	請求管理ロボへ停止登録	10_データ連携 (SF→ロボ)	2_任意	1_ボタン追加要	同名ボタンのリストビュー/関連リスト用。	0_有効
93	14	商品	2_リストビュー/関連リスト	9	請求管理ロボへ停止解除登録	10_データ連携 (SF→ロボ)	2_任意	1_ボタン追加要	同名ボタンのリストビュー/関連リスト用。	0_有効

詳細は【別紙】アクションボタン一覧.xlsxを参照

## 5-5. タスク⑪ : リストビューボタンの表示設定 - 取引先

SF画面から【設定】 > 【オブジェクトマネージャー】 > 【取引先】 > 【リストビューボタンレイアウト】 から、リストビューボタンを追加します。



## 5-5. タスク⑪ : リストビューボタンの表示設定 - 商品

SF画面から【設定】 > 【オブジェクトマネージャー】 > 【商品】 > 【リストビューボタンレイアウト】 から、リストビューボタンを追加します。

※ **任意設定です。商品勘定の運用をされる際のみご設定ください**

1

2

3

4

設定 > オブジェクトマネージャー > 商品

### リストビューボタンレイアウト

1件の項目 (レイアウト順)

レイアウト	表示される列	表示されるボタン
リストビュー	なし	Quip で開く, 新規提供元ドキュメント, 追加, 新規, カタログ, 印刷用に表示

編集

5

6

追加して保存してください。

標準ボタン

- Quip で開く [OpenListInQuip]
- 新規提供元ドキュメント [NewFromDocument]
- 追加 [Add]
- 新規 [CreateNewProduct]
- カテゴリに追加 [MassAddProductsToCategory]
- 印刷用に表示 [PrintableListView]

カスタムボタン

利用可能なボタン

- 請求管理ロバへ停止解除登録(サポート対象外)
- 請求管理ロバへ登録(サポート対象外)
- 請求管理ロバへ停止登録(サポート対象外)

選択したボタン

- 請求管理ロバへ登録
- 請求管理ロバへ停止登録
- 請求管理ロバへ停止解除登録

保存

## 6. ユーザー登録

1. Salesforceユーザーに、請求管理ロボ for Salesforceのライセンスを割り当てます。
2. 請求管理ロボにユーザー登録を行います。

以下のタスクが完了すると、【各業務ユーザーがシステムを利用できる】状態になります。

#	タスク	タスク概要	作業箇所
12	SFユーザーへのライセンス割り当て	<p>Salesforceユーザーに対して、請求管理ロボ for Salesforceのライセンスを割り当てます。</p> <p>正しく登録することで、当該ユーザーが請求管理ロボ for Salesforceのオブジェクトや機能を利用できるようになります。</p> <p>※Sandbox(デモ環境)では、このタスクは不要です。</p>	
13	ロボユーザーの登録	<p>請求管理ロボのログインユーザーを登録します。</p> <p>正しく登録することで、当該ユーザーが請求管理ロボにSSOログインし、消込業務などを実施できるようになります。</p>	

## 6-2. タスク⑫ : SFユーザーへのライセンス割り当て (1/3)

Salesforceの「設定」を開き、「アプリケーション」>「パッケージ」>「インストール済みパッケージ」から、【請求管理ロボ for Salesforce】の[ライセンスの管理]を開きます。

※Sandbox(デモ環境)では、このタスク(SFユーザーへのライセンス割り当て)は不要です。

### 【ご注意】

請求管理ロボ for Salesforceのインストール直後は、Salesforce全体がライセンスされた状態となっています。このため、インストール直後は本手順が実施できません。

インストールを検知すると、弊社事務担当が設定変更対応を行い、貴社ご契約ライセンス数の割り当てができる状態といたします。

その作業終了時、作業実施のご連絡メールが届きます。メール受信後に本手順を実施してください。

The screenshot shows the Salesforce 'インストール済みパッケージ' (Installed Packages) page. A red box labeled '1' highlights the settings icon in the top right corner. A red box labeled '2' highlights the 'インストール済みパッケージ' (Installed Packages) link in the left sidebar. A red box labeled '3' highlights the 'ライセンスの管理' (Manage Licenses) link in the table of installed packages.

アクション	パッケージ名	公開者	バージョン番号	名前空間プレフィックス	状況	許可されているライセンス数	使用ライセンス	プラットフォームインテグレーションに対して有効化済み	有効期限	インストール日時
アンインストール	請求管理ロボ for Salesforce	經理のミカタ開発	1.03	KEIRINOMIKATA	トライアル	Unlimited	0	<input type="checkbox"/>	2023/12/20	2023/1/18:32

## 6-2. タスク⑫ : SFユーザーへのライセンス割り当て (2/3)

【請求管理ロボ for Salesforce】ライセンス画面で、SFユーザーに請求管理ロボ for Salesforceのライセンスを割り当てます。

【ライセンスを付与したユーザー】一覧の【ユーザーの追加】を押します。

設定  
パッケージマネージャー

パッケージの詳細  
請求管理ロボ for Salesforce

プラットフォームインテグレーションに対して有効化

パッケージ名	公開者	経理のミカド開発
請求管理ロボ for Salesforce		
状況	有効	許可されているライセンス数 20
有効期限	有効期限はありません	使用ライセンス 0

プラットフォームインテグレーションに対して有効化済み

ライセンスを付与したユーザー

ユーザーの追加

【選択可能なユーザー】一覧で付与したいユーザーをチェックします。  
※表示されない場合は、次ページに遷移するなど探してください。  
【選択済みのユーザー】一覧下の【追加】ボタンを押下します。

設定  
パッケージマネージャー

ユーザーの追加  
請求管理ロボ for Salesforce

ビュー: すべて 新規ビューの作成

選択可能なユーザー

名前	ロール	有効	プロフィール
<input checked="" type="checkbox"/> システム管理者		✓	システム管理者
<input checked="" type="checkbox"/> 立石 恒大		✓	標準ユーザー(カスタム)

選択済みのユーザー

追加

## 6-2. タスク⑫ : SFユーザーへのライセンス割り当て (3/3)

【請求管理ロボ for Salesforce】のパッケージ画面で、ライセンス付与が完了したことを確認します。

The screenshot shows the Salesforce Package Manager interface. The left sidebar contains navigation options: 設定 (Settings), ホーム (Home), and オブジェクトマネージャー (Object Manager). The main content area is titled '設定 パッケージマネージャー' (Settings Package Manager) and displays details for the package '請求管理ロボ for Salesforce'. A table below the details shows the license status, including the number of licenses available (20) and used (2). A red box highlights the 'ライセンスを付与したユーザー' (Users to whom licenses are assigned) section, which contains a table with the following data:

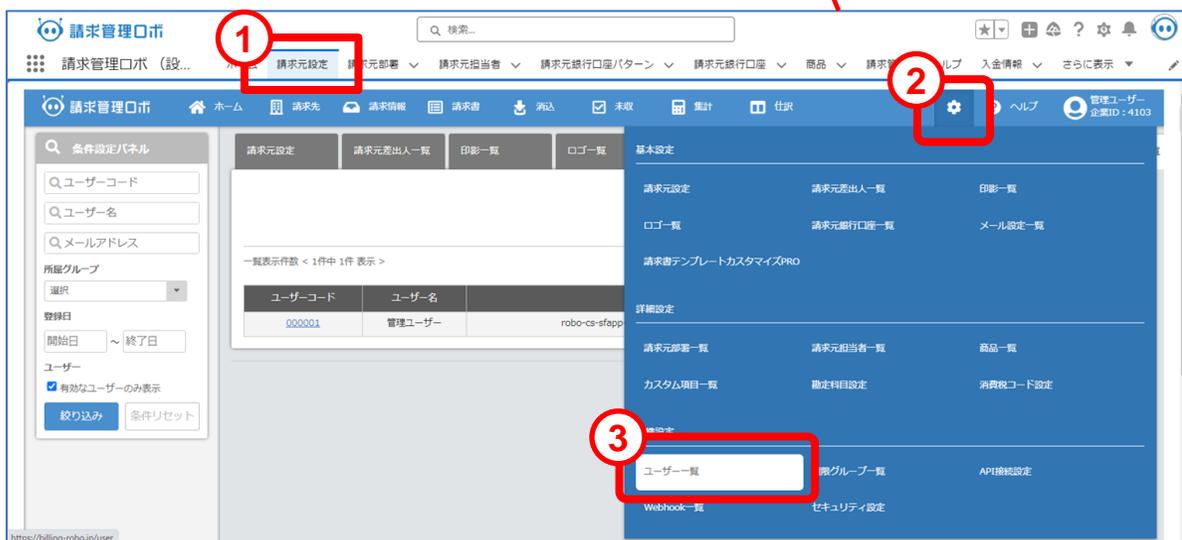
アクション	氏名 ↑	ロール	有効	プロフィール
削除	システム 管理者		✓	システム管理者
削除	立石 恒太		✓	標準ユーザー(カスタム)

## 6-3. タスク⑬：ロボユーザーの登録（1/2）

【請求管理ロボ】 > 【設定】 > 【ユーザー一覧】 から、ロボユーザー登録を行います。

【請求管理ロボ（設定）】 > 【請求元設定】 > 請求管理ロボ画面を開き、  
【請求管理ロボ】 > 【設定】 > 【ユーザー一覧】 を押します。

【+ユーザー情報登録】 を押し、 【ユーザー情報登録】 画面を開きます。



## 6-3. タスク⑬ : ロボユーザーの登録 (2/2)

【請求管理ロボ】 > 【設定】 > 【ユーザー一覧】 から、ロボユーザー登録を行います。



ユーザー情報登録	
ユーザーコード	ASUser01
ユーザー名	デモ営業担当 1
メールアドレス	██████████@robotpayment.co.jp
所属グループ	管理グループ
SalesForceID	██████████@robotpayment.co.jp

登録

以下の要領で値設定してください

1. **ユーザーコード** : 弊社システム内部のユーザーコード。  
システム上利用しないため、通番などでもOK。
2. **ユーザー名** : 弊社システムのユーザー表示名。
3. **メールアドレス** : 当該ユーザーのメールアドレス。
4. **所属グループ** : “管理グループ”を指定してください。
5. **SalesforceID** : このユーザーの、SFユーザー名を指定してください。

### 【注意事項】

1. メールアドレスに弊社からのお知らせが届きます。  
受信可能なアドレスを指定してください。
2. SalesforceIDの値で指定したユーザーが、ここで登録するロボユーザーとしてロボSSOログインできるようになります。
3. SalesforceIDに、メールアドレス型チェックが入っています。  
Sandboxユーザーなどで、ユーザー名末尾が数字で終わる場合などは、ロボ登録ができません。その際はSFユーザー名の変更後ご検討ください。
4. ユーザー登録後、ロボアカウントのパスワード設定依頼メールが届きます。  
SFユーザーの場合、SF画面からSSOログインいたします。  
そのため、届くメールは無視していただいて問題ありません。

# appendix

関連タスクについての補足を申し上げます。

Salesforceは、プロファイル・権限セットで業務利用範囲を制御する仕組みになっております。

弊社製品では、【権限設計（プロファイル・権限セットの構築）はユーザー様各社のタスク】

という形をとらせていただいております。

※ 業務範囲が限定されている&ライセンス割り当てしないと機能利用権が付与されない為

プロファイル設計にあたって、必要情報があれば別途お問合せをお願いします。

本書の記載範囲のほかに、請求管理ロボ本体の設定作業がございます。

例：請求書印字ロゴの設定、差出人の住所情報設定等

これらについては本書の記載対象外 & 弊社の初期導入支援の中でご案内いたします。